LXP NATIVE | REVERB BUNDLE

取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書はLXP Native Reverb Bundleのソフトウェアマニュアルです。機器の設定および接続は、お持ちのソフトウェアのバージョンによって内容が異なることがあります。安全にお使いいただくために、ご使用前にこのマニュアルを必ずお読みください。また、このマニュアルは、お読みになった後もいつでも見られる場所に保管してください。

■はじめに

このたびは Lexicon PRO LXP Native Reverb Bundle をご購入いただき、誠にありがとうございます。ご使用いただく前に必ず本書をお読みいただき、内容を良くご理解された上で正しくお使いください。

●保証書について

・保証書は必ず「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名 / 所在地」の記入をご確認いただき、製品とともにお受け取りください。保証書記載事項に基づき、無償交換等を保証させていただきます。お問い合わせはお買い上げの販売店までご依頼ください。

・お買い上げ時に「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名／所在地」が正しく記入されていない場合は保証書が無効になり、無償修理を受けられないことがあります。記載内容が不充分でしたら、速やかに販売店にお問い合わせください。

・以下のような場合は期間内であっても保証の対象外となります。

・通常の使用範囲を超えた取り扱いによる故障

・接続した機器が要因で起きた不具合

・設計・製造以外の要因で起きた不具合

●故障かな？と思われる症状が出たときには

このマニュアルをもう一度お読みになり、接続や操作などをご確認ください。それでも改善されないときは、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

■本製品のアフターサービスについて

本製品は日本における正規輸入代理店であるヒビノ株式会社が輸入した製品です。アフターサービス等をご希望の場合はご購入された販売店 (保証書に記載) にご依頼ください。販売店にて各社規定のアフターサービスを行います。また、ご依頼の際には保証書の提示が必要です。保証書の提示がない場合は、アフターサービスなどが受けられないことがあります。保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

■梱包内容の確認

パッケージに次のものが入っていることを確認してください。

- **ソフトウェア CD-ROM**
- **iLok ライセンスコード**
- **英文取扱説明書**
- **14 日間の試用デモ CD-ROM**
- **和文取扱説明書 (本書)**
- **保証書**

万一足りないものがありましたら、購入された販売店までお問い合わせください。

■目次

■ソフトウェアのインストール

LXP Native Reverb Bundle は以下のシステム環境で動作します。

・Macintosh

CPU	PowerPC G5 1.8GHz もしくは Intel Mac
メモリー	1GB RAM 以上
HD 空き容量	250MB 以上
ディスプレイ解像度	1280 × 800 以上
ドライブ	コンボドライブもしくはスーパードライブ
OS	Mac OS X 10.4.10 以降
プラグイン規格	Audio Unit、VST 2.4 以降、ProTools 7.3 以降

・Windows

CPU	1.6GHz 以上の Intel もしくは AMD プロセッサー
メモリー	1GB RAM 以上
HD 空き容量	100MB 以上
ディスプレイ解像度	1280 × 800 以上
ドライブ	CD または DVD-ROM ドライブ
OS	Windows XP/Vista/7
プラグイン規格	VST 2.4 以降、ProTools 7.3 以降

①同梱の CD-ROM をお手持ちのコンピューターに挿入してください。インストーラーが自動的に起動します。インストーラーが自動的に起動しない場合は CD-ROM 内の以下のアプリケーションをダブルクリックしてください。

Mac: LXP Reverb.mpkg
Windows: setup.exe

②インストーラーが起動したら画面の指示に従いインストールを完了してください。

● iLok 認証

プラグイン内のプログラムを使用する前に iLok USB キーにライセンス認証を行う必要があります。iLok 認証を完了していない場合、プログラム起動時の認証動作が行えず、LXP Native Reverb Bundle を使用できません。iLok 認証の詳細は http://www.iLok.com を参照してください。

※本プラグインは認証済の iLok USB キーを USB ポートに挿入した状態でのみ使用できます。また、iLok USB キーは本製品には同梱していません。お持ちでない場合は別途購入する必要があります。

■プログラムの起動

プラグインを読み込むと以下の画面が表示されます。



①アルゴリズム名

読み込みを行ったリバーブアルゴリズムの名称を表示しています。

②プリセットセレクター

クリックすると選択したカテゴリーに含まれるプリセットをリスト表示します。希望のプリセットを選択してプラグインに読み込みます。

③リアルタイムディスプレイ

リバーブ処理後の信号を表示するディスプレイです。3 つの表示形式があり、任意で切り替え可能です。詳しくは 8 ページの「リアルタイムディスプレイ」を参照してください。

④ナビゲーションスイッチ

それぞれのスイッチを押すごとに関連する編集ページがパラメーターつまみ部に呼び出されます。

⑤ソフトロー割り当てスイッチ

ナビゲーションスイッチの [Soft Row] を選択したときのみ表示されます。ソフトローを選択した際に調整を行う項目を設定します。詳しくは 10 ページの「ソフトロー」を参照してください。

⑥パラメーターつまみ

パラメーターの調整を行うつまみです。各つまみの調整項目はつまみの真下に表示されます。

⑦入出力メーター

入力信号およびプラグインを通過した出力信号を個別に表示するレベルメーターです。

⑧カテゴリーセレクター

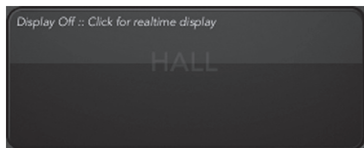
各リバーブアルゴリズム内のプリセットはカテゴリーで大まかに分類されています。例えばホールアルゴリズムはスモールホール、ミディアムホールなどのカテゴリーに分かれています。プリセットカテゴリーをクリックするとアルゴリズムに含まれるカテゴリーがリスト表示され、カテゴリーを選択するとカテゴリーを読み込みます。

⑨コントロールスイッチ

プリセットの保存や処理前後の音の比較、処理前の設定の再読み込みを行うスイッチです。詳しくは 9 ページの「コントロールスイッチ」を参照してください。

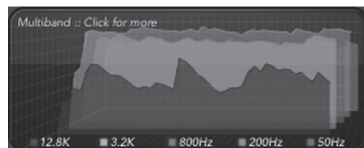
■リアルタイムディスプレイ

リアルタイムディスプレイではリバーブ効果を 3 つの方式で視覚的に表示します。表示はディスプレイ内をクリックすることで順番に切り替わります。



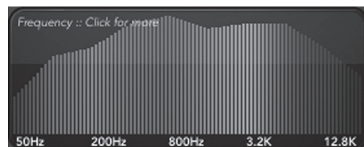
・Display Off

ディスプレイ表示を OFF にした状態です。デフォルトの画面に設定されており、CPU の負荷が最も少ない表示形式です。



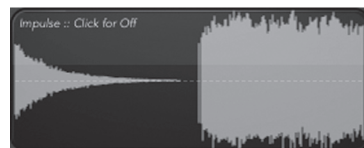
・Multiband

周波数帯域を 5 分割して信号レベルを表示します。低域の周波数が背面側で、時間ごとに右から左にイメージが移動します。



・Frequency

周波数帯域全体を 1 つのグラフとして表示します。一般的な RTA メーターと同様で低域の周波数が左側です。



・Impluse

信号の単一インパルス応答を表示します。時間ごとに左へイメージが移動します。

■パラメーターつまみ

プリセットのパラメーター調整を行うエリアです。各つまみはクリック＆ドラッグ、マウスホイールなどで調整できるほか、つまみ真上の設定値部をダブルクリックして、直接数値を入力することも可能です。また、ウィンドウ下部のナビゲーションスイッチを押して調整ページを切り替えます。



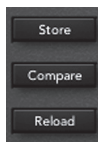
■ナビゲーションスイッチ

スイッチを押すごとに関連する編集ページをパラメーターつまみ部に呼び出します。ナビゲーションスイッチの項目は使用中のアルゴリズムにより異なります。ソフトロースイッチは常に表示されており、項目内容を変更する場合は 10 ページの「ソフトローのカスタマイズ」を参照してください。



■コントロールスイッチ

プリセットの保存や処理前後の音の比較、処理前の設定の再読み込みを行うスイッチです。



Store スイッチ

設定したプリセットの保存及び管理を行います。詳しくは 13 ページの「プリセットの管理」を参照してください。

Compare スイッチ

スイッチを押すと一時的に選択したプリセットを OFF にし、リバーブ処理前の信号を検聴できます。押した状態ではパラメーターの調整を行えません。再度スイッチを押すことでプリセットに復帰します。

Reload スイッチ

スイッチを押すとパラメーター値を初期設定に戻します。

■ Soft Row: ソフトロー

●ソフトローとは？

プリセットごとに使用頻度の高い項目を集めたセットです。基本的にソフトロー編集ページに表示される項目を調整すれば概ね希望する効果を得ることができます。また、ソフトローの項目はユーザーが自由にカスタマイズも可能です。

・ソフトローのカスタマイズ

ソフトローの割り当てはプリセットに属しており、変更した場合はユーザープリセットとして保存する必要があります。カスタマイズは以下の手順で行ってください。

①ナビゲーションスイッチ内の［Soft Rows］をクリックするとナビゲーションスイッチの上にソフトロー割り当てスイッチが表示されます。

②変更を行う項目をクリックすると調整項目がリスト表示されます。変更したい項目を選択してください。

③同一の項目を複数割り当てることも可能です。割り当てが完了したらプリセットの保存を行ってください (12 ページの「プリセットの保存」を参照)。保存したプリセットを読み込めばいつでも設定したソフトロー項目で調整を行えます。



■ファクトリープリセット

各プラグインは Lexicon が長年の研究・開発により生み出した各種ファクトリープリセットを搭載しています。ファクトリープリセットはカテゴリー (ミディアムホールやラージホールなど) にグループ分けされており、希望の音質を探すのに便利です。用途に合わせて膨大なプリセットを用意しているため、プリセットを選択するだけでほとんどのアプリケーションに対応します。

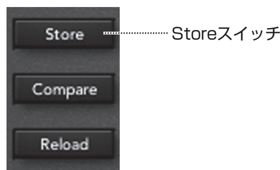
●プリセットの読み込み

カテゴリーセレクターをクリックするとカテゴリーリストが表れます。希望のカテゴリーを選択してください。その後、プリセットセレクターをクリックすることで、カテゴリー内のプリセットをリスト表示します。希望のプリセットを選択することでプリセットをプラグインに読み込みます。



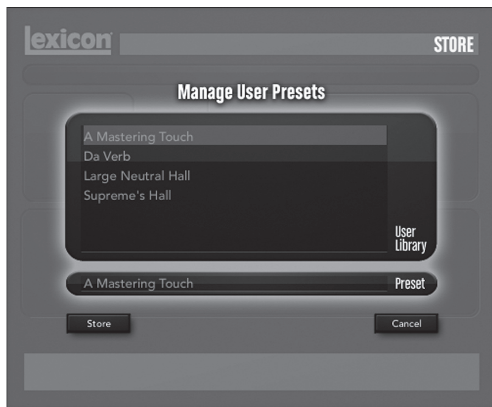
●プリセットの保存

パラメーターの編集を行ったら Store スイッチを押していつでもプリセットの保存を行えます。大半の DAW ソフトウェアは使用している DAW ソフトウェア上でのみ保存および読み込みを行えるようになっていますが、LXP Native Reverb Bundle はポータブルプリセットとして保存を行うことで、コンピューター上の全ての DAW ソフトウェアに同一のプリセットを使用できます。また、USB メモリー等を使用することで別のコンピューター (Windows や Mac) でも使用できます。



●プリセットの管理

［Store］スイッチを押すと、以下のディスプレイが表れます。



ディスプレイ上部には使用しているアルゴリズムでこれまで作成したユーザープリセットがアルファベット順に表示されます。作成済のユーザープリセットをクリックすると下部に[Replace]、[Delete]スイッチが表示されます。［Replace］スイッチをクリックすると選択したプリセットへの上書き保存、［Delete］スイッチをクリックすると選択したプリセットの削除を実行します。

ディスプレイ下部には編集前のプリセット名が表示されています。エリアをクリックし、希望の名称を入力した後、［Store］スイッチを押して保存を行ってください。［Cancel］スイッチを押すと保存をキャンセルし、プリセット編集画面に戻ります。

●ポータブルプリセットの保存先

ポータブルプリセットは以下の場所に保存されます。

※斜体部はコンピューター側のアカウント名や使用しているアルゴリズムにより異なる部分です。

・Mac
/*Home*/Library/Application Support/LexiconPro/Native/User Presets/*AlgorithmName*

・Windows 7、Vista
Users/*username*/appdata/*usertype*/Lexicon LXP Native/User Presets/*AlgorithmName*

・Windows XP
Documents and Settings/*username*/Application Data/Lexicon LXP Native/User Presets/*AlgorithmName*

■コンピューターの能力を最大限活用するために

プラグインは非常に効率的に動作しますが、コンピューターの負荷がかかる場合は以下の処置を行ってください。

・リアルタイムディスプレイの表示を OFF にする
・ミックス処理をリアルタイムで行っていない場合はプラグインエディターを閉じる



2010年8月版

HIBINO

ヒビノ株式会社
ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部
〒108-0075　東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3110　FAX: 03-5783-3111

http://www.hibino.co.jp/
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp